

精神看護学概論

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学修方針(講義概要等)

精神的な健康の問題を抱えている人を、ただ精神障害者と規定せずに、その人に固有な生活の文脈から理解する。看護師は自らをケアの提供者として最大限に生かしながら、患者と家族にかかわることを学修する。患者と家族の生活史や家族背景、地域の文化や環境が与える要因を把握し、患者の言動の持つ意味を多面的に理解する。その理解のために人格の発達と病理、精神と身体、家族、集団および社会のダイナミクスについて学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

精神の健康とその障害について、ストレス・危機理論、精神力動理論、対象関係論、漸進的発達理論などから理解できる。精神障害の生きにくさと共に、回復(リカバリー)について、こころのレジリエンス、ストレングスの側面から考え、「その人らしく生きる」ことへの支援の大切さについて認識できる。精神保健医療福祉に関する法律や社会制度、歴史的変遷を踏まえ、精神障害者の権利擁護と精神保健福祉にかかわるものの倫理観について理解できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4

・到達目標(SBO)

1. 心の健康の概念について説明できる。
2. 世界の中における我が国の精神医療の現状が説明できる。
3. 精神の健康の定義の歴史的変遷とその考え方を説明できる。
4. ライフサイクル各期における発達課題と心の危機的状況について説明できる。
5. 精神障害を体験する人々の苦悩と生きにくさを理解し説明できる。
6. 回復(リカバリー)の概念と構成要素を学び、精神障害者が「自分自身の人生を生きる」ための支援について考え説明することができる。
7. 精神障害者への処遇の歴史的な背景と法律・制度の変遷を学び、支援するものの倫理観の必要性和倫理的行動が理解し説明できる。
8. 現代社会のストレスとその要因と対処の現状を踏まえて、自己の感情活動の具体的な対処方法を検討することができる。

・ 授業日程

(矢)西 1-B 講義室

【講義】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
5/9 (火) 2 限	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授	精神看護学導入-現代社会とこころ ・ 現代社会とこころの問題を、自殺、いじめ、虐待、ひきこもり等の事例から考え、私たちがおかれている状況とその問題点について説明できる。 ・ 精神科医療の世界的な動向と日本の現状が説明できる。
5/16 (火) 2 限	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授	精神保健の考え方① ・ 心身の健康に及ぼすストレスの影響を、生理学的、社会文化的側面から説明できる。 ・ 精神保健における危機と危機介入について説明できる。 ・ ストレスに対応するための対処行動(コーピング)について説明できる。 ・ 心的外傷(トラウマ)とは何かを説明できる。 ・ 心的外傷(トラウマ)によるストレス反応について説明できる。
5/23 (火) 2 限	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授	精神保健の考え方② ・ 回復(リカバリー)とは何か。その概念を「レジリエンス」「ストレングス」の側面から説明できる。 ・ 国際生活機能分類(ICF)の考え方を使って、精神障害者の生きにくさやストレングスを全体的にとらえて分析することができる。
5/30 (火) 2 限	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授	心のはたらきと人格の形成 ・ 心のはたらきとしくみを、生理学的・心理学的・社会学的に理解し、どのように自己が形成されていくのかについて「精神力動理論」「対象関係論」「漸進的発達理論」を用いて説明できる。
6/6 (火) 2 限	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授	関係のなかの人間 ・ 家族システムについて、その役割や構造について説明できる。 ・ 家族問題としての嗜癖(アディクション)を氷山モデルで説明できる。 ・ グループにおける集団ダイナミクスをプロセスとして説明できる。
6/7 (水) 2 限	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授	精神障害とはなにか ・ 当事者にとっての「精神を病む」体験を通して、疾患(disease)と病(illness)の違いが説明できる。 ・ 精神疾患の特徴的な症状について「思考・感情・意欲・知覚・意識・記憶」及び「発達・知的」等さまざまな障害として説明できる。
6/19 (月) 2 限	地域包括ケア講座 高崎 邦子 講師	社会のなかの精神障害 ・ 日本における精神医学・医療の歴史的流れを知り、精神障害者の権利擁護について説明することができる ・ 精神医療を受けるための法律や制度について概説でき、法に基づいた倫理的な関りについて説明できる。

6/26 (月) 3限	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授	精神保健医療福祉対策とその動向 ・我が国の自殺対策を自殺対策基本法、自殺総合対策大綱による位置づけにより説明できる。 ・まとめ
-------------------	---------------------	---

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 第6版	武井麻子、他著	医学書院	2021
教	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [2] 精神看護の展開 第6版	武井麻子、他著	医学書院	2021

・成績評価方法

定期試験(多肢選択)70%と Portfolio 評価(初回授業時にルーブリック評価表を提示する)30%の合計100%にて評価をする。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

事前学修は、WebClass にアップされている資料を読み又は web 教材を視聴し、所定の事前学修シートに各授業回の提示された keyword に沿ってまとめる。各回最低 60 分を要する。

また、事後学修は、各授業で配布される事後学修シートに、各授業回の学修の要点をまとめる。各回最低 60 分を要する。

事前・事後学修シートを Portfolio に綴じる。

授業中に映写するパワーポイント資料は WebClass に掲載するので必ず確認し、理解不足だと思う点を教員に質問し、その都度放置せずに事後学修すること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・各授業の最後に行う習得度チェックについては、授業内に解答・解説を行う。
- ・リアクションペーパーは、次回の授業においてコメントを付すなどしてフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表 3)：専門分野Ⅱ 精神看護学

【その他】

各回講義の中で、テーマに基づくディスカッション(グループワーク等)の機会を設け、または ICT の利用によるアンケートフォーム(Custom form®)を通して、学生の理解度を確認しながら講義を進行する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影